

注目アイテムを本音でインプレ!

使ってみたら、こうだった。

ケンウッド
CAX-DS01

低濃度オゾンとイオンの効果で手軽に車内空間を除菌・消臭できるデバイスが、ケンウッドから登場。人々の衛生意識が限りなく高められているいま、「一車に一台」が必須のアイテムとなる!

文/川内一史(本誌) 撮影/高原マサキ(TK.c)



使った人

本誌編集長
川内一史

元々は衛生管理に無頓着だったが、子どもの誕生とコロナ禍によって意識が高まった。「密」な空間の車内では特にセンシティブに。



使ってみたら、スゴかった。

 多重リングによるコロナ放電で
パワフルに車内空間を快適化

同心円状の多重リング形状を採用した受電極を3極搭載し、大量のイオンおよび低濃度オゾンを効率良く生成。コロナ放電が連鎖的に起こることで強いイオン風が発生し、遠くまで放出して車内の隅々まで行き渡らせる。


 ソーラーパネルによる駆動で
エンジンオフ時も除菌・消臭

天面のソーラーパネルによる給電で駆動。蓄電機能はないものの、駐車中やエンジンオフ時も除菌・消臭できるのがうれしい。シガーソケットはDC12V/24V対応で、一般的な乗用車のほかトラックなどでも使用できる。


 小型設計&USB給電対応で
デスクトップでも使いやすい!

思いのほか小さかったのでデスクトップでも使ってみた。PCのUSB端子から給電でき、音も静かで問題ナシ。より手軽さを求める人向けに、受電極1極のUSBタイプCAX-DM01(実売価格4500円)も用意する。



結論!

手軽さ	★★★★★
省スペース性	★★★★★
コスパ	★★★★★

駆動時に点灯するLEDはクルマのインテリアと好相性で「後付け感」ナシ。除菌効果は実感しにくいけど、2万円ちょっとで安心が手に入るなら高くない!

新 型コロナウイルスが世界中で蔓延するなか、人々の衛生意識はかつてないほどに高められている。1年以上も「自粛」が続いている私たちが、どうしても「密」を避けられないのが車内空間。狭いうえ、走行中は自由に換気できないこともあるクルマの中は、ウイルスや菌の温床だ。他人と乗り合わせるのに不安が付きまとう。その不安を取り除くのが、ケンウッドの車載用低濃度オゾン発生器CAX-DS01だ。

同梱する面ファスナーを底面に貼るだけでダッシュボードへ手軽に設置でき、小型設計のため邪魔に感じることもない。シガーソケットに接続するとすぐに駆動し、動作音はほぼ皆無。運転中にうるさくて気になることはまずないだろう。ウイルスは視認できないため今回は効果を検証できなかったが、車内独特のケミカル臭がスッと消えたのはすぐに実感できた。また、ファーストフードを持ち込んだ際のニオイも軽減されたので、様々なタイプの臭気に効くといえそう。天面にソーラーパネルを備えており、エンジン停止中も駆動させられる点もメリット。長時間駐車している間も除菌・消臭できるとに大きな安心感を得られるのだ。

低濃度オゾン発生器

ケンウッド
CAX-DS01

実売価格2万3000円



クルマのダッシュボードへ手軽に設置できる除菌消臭装置。多重リング式コロナ放電で低濃度オゾンとイオンを効果的に生成・放出し、ウイルスやニオイを抑制する。シガーソケットのほか、ソーラーパネル経由での給電に対応し、使い勝手が良い。

車内空間特有のイヤなニオイを一掃!
コンパクト&静音設計もうれしい(川内)